

時間割コード	Q4601904	開講年度	2026					
授業題目	教育相談特論【第4欄】						担当教員	横嶋 敬行
英文授業名	Theory of Educational Counseling							
単位数	2	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	F
講義室	共通教育 1 3 講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素						【授業の達成目標】	
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生、多文化協働、健康長寿、キャリア							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	子どもたちが抱える諸課題に対して適切な教育相談を進めるためには、教師自身のメンタルヘルスケアが不可欠である。自身に適したストレスマネジメント方略の考案及び実践を通して、教育相談の基礎的な知識及び技術を実践的に学ぶ。子ども用の心理教育等の発達支持的・課題予防的教育相談（心理教育等の活用）や困難課題対応的教育相談（いじめ・不登校等の課題）に関するグループワークやディスカッションを通して具体的な実践力を身につける。							
(5)授業のキーワード	教育相談，学校心理学，心理教育							
(6)授業計画	場所：松本キャンパス 夏期集中：9月15日 - 18日 第1回：教育相談とは（教育相談の意義、内容、歴史） 第2回：傾聴とアサーショントレーニングの理論と実践 第3回：ストレスのメカニズム 第4回：教師の心が折れるとき（事例検討） 第5回：ストレスマネジメントの理論 第6回：ストレスマネジメントの実践 第7回：ストレスマネジメントの実践発表 第8回：心理教育の理論と実践（自己肯定感の育成） 第9回：心理教育の理論と実践（感情知性の育成） 第10回：心理教育の理論と実践（実行機能の育成） 第11回：心理療法の教育現場への応用（応用行動療法） 第12回：心理療法の教育現場への応用（認知行動療法） 第13回：心理教育の教育現場への応用（マインドフルネス） 第14回：児童生徒の問題の予防と対応（いじめ・不登校） 第15回：児童生徒の問題の予防と対応（発達障害・虐待），授業アンケート（最後の15分で実施） 定期試験は実施しない。							
(7)成績評価の方法	授業内で課す小課題、グループワーク、レポート等を総合的に評価する（100％）							
(8)成績評価の基準	以下の評価基準を基に評価する。 各活動のテーマに沿って論を展開できているか 学んだ知識や技術を活用し，テーマについて考察することができているか 自身の考えや今後の展望を具体的に論じることができているか 論理的に文章が構成・展開されており，質・量において十分か 上記の ～ のうち，すべてを満たしており，かつ，教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」， ～ をすべて満たしていれば「かなり上にある」，3項目を満たしていれば「やや上にある」，2項目を満たしていれば「水準にある」。							
(9)事前事後学習の内容	・授業内で紹介する論文（日本語）や授業資料等を事前・事後学習に活用すること。夏期集中講義の終わりに，冬期の集中講義までに取り組む課題（自身で考案したストレスマネジメント）を出す。各自取り組んだ上で，冬期の集中講義に参加すること。 ・本授業の単位修得には90時間の学習が必要であるため、以下のような学習時間を必要とする。 授業時間30時間（2時間×15回）＋自己学習時間60時間（4時間×15回）＝90時間							
(10)履修上の注意	・本授業は，教員免許状取得のための必修科目「教育相談の理論と実践」を履修済みの学生が対象である。 ・授業計画は，履修者の数や興味・関心やその時々 ¹ の社会的状況等に照らして変更する可能性がある。 ・各地から松本キャンパスに通う学生がいることを考慮して，授業の開始と終了の時間を調整する予定である。履修登録後は必ずeALPSで授業スケジュールの確認しておくこと。							
(11)質問、相談への対応	質問・相談は授業前後，面談，メール等で受け付ける。面談を希望する場合は，なるべく事前にメールで希望日時を相談すること（t_yoko@shinshu-u.ac.jp）。							
(12)授業への出席	本授業は「信州大学における授業の出席に関する要項」第4に規定する「学修の補充の対象とする事由」で欠席し，補充を受けた場合を含み，欠席回数が6回以上になると，授業の達成目標に到達することができないため単位が認定されません。							
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	「学修の補充の対象とする事由」により出席できない場合は，共通教育履修案内に掲載されている方法により補充を受けるための申請をおこなってください。							

【教科書】	指定なし（レジュメ等の資料を配布する）
【参考書】	授業内容に関連する重要論文（日本語）を授業内およびeALPSで紹介する。